広報 まつだい

1988/12月

第349号

■発行　新潟県松代町役場総務課　電話　松代7－2220番　昭和63年12月15日

《人口の動き》　男2,734(－11)　女2,774(－４人)　計5,508(－15)　世帯数1,579(－５)

11月末現在　出生１　死亡５　転入７　転出18

いよいよ冬本番
除雪出動 機械も準備 オーケー

今年の冬は大雪？

新潟地方気象台が十一月下旬に発表した十二月から翌二月までの三ヶ月間の予報によると、

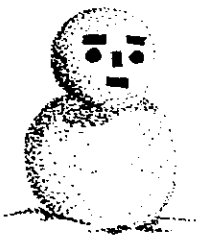
十二月は、半ば以後冬型の〝気圧配置が強まり雪の日が多い。

一月は冬型の気圧配置が一段と強まり、大雪のおそれ。

二月、引き続き寒い日が多く、大雪のおそれ。とのことです。

気象庁でも〝この冬は大雪〟と自信を持って発表しましたが、豪雪地帯に住む私たちにとっては誠に有難くない話です。

する除雪車



堀割～田代間も条件付き除雪が

この冬の町内道路の除雪計画は、国県道において新たに堀割～田代間が除雪され通行が可能となる見通しです。まだ同区間の未改政良部分が若干残されているため、雪の量によっては除雪が困難になる期間もあるとのことですが柏崎方面へ道が拓けたことは明るい材料となりそうです。

また、町道の除雪計画では、常時除雪される路線のほか、全部落について正月帰省された方々が再赴任する一月初旬までは除雪する予定です。ただし雪の量により期間が短縮したり延びたりすることもあるとのことです。

守ろう！ルールとマナー

除雪には、県と町の職員と委託を受けた町内の建設業者が早朝から作業を行います。決められた区間を確実に除雪するためには、みなさん一人ひとりの協力が絶対に必要なのです。

除雪車に近寄らない

除雪中にこわいのが事故。除雪車にからんだ痛ましい事故が毎年あちこちで起こるのもこの時期です。

松代町から悲しい事故を出さないためにも〝除雪車に近寄るな！〟が鉄則です。

自家用車を放置しない

確実な除雪をするための最大の障害は路上駐車。除雪状況が良くなるにつれ、冬でも多くの自家用車が使われていますが、駐車禁止区間はもちろんのこと、そうでない所でも長時間の路上駐車は絶対にやめましょう。

また、除雪と交通の妨げとなる物を路上に出したり、放置しないことも大原則です。

交通事故と火災から身を守るために

車の運転は減速第一

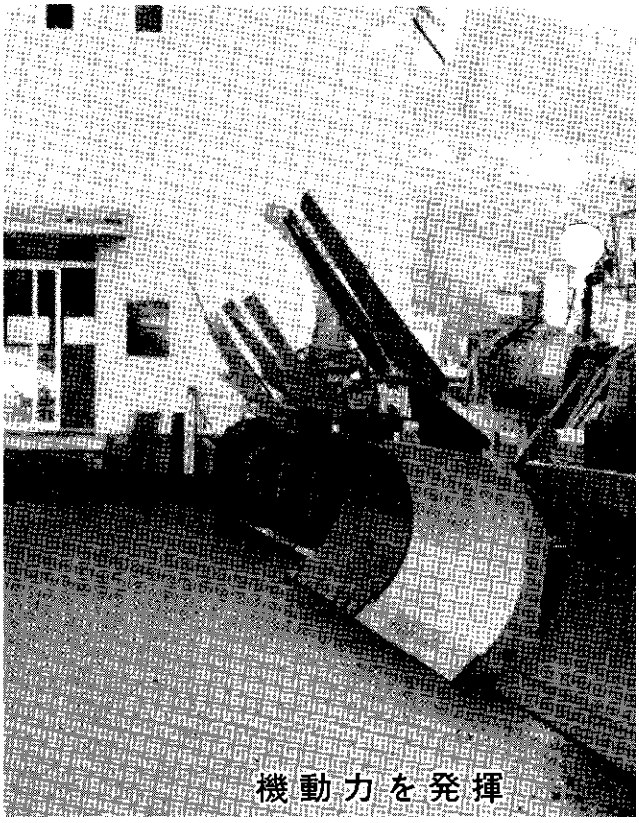
自動車事故で特に多いのがスピードの出し過ぎによるスリップ事故。雪道での自動車は、ドライバーが予想もしない動きをするものです。事故を起こさないためには、スピードは絶対に出さないことです。そして、雪に対するチェーン、スコップなどの装備も忘れずに。

注意に勝る予防なし

寒くなると火の暖かさがうれしいものですが、使い方を間違えたり注意を怠るととんでもないことになります。

冬は夏場とちがい消防水利の確保が困難なうえ、頼りとなる男手が少なくなります。加えて雪のため〝火が出たらもうダメ〟となるケースが多くなります。

火災は一人ひとりの注意で無くせることを肝に命じましょう。


機動力を発揮

雪は多い？少ない？

市川三次郎さん（田沢）

「土の中の虫がほんの一肌くらい（一㌢くらい）の所で冬眠している。

虫たちが、この冬は暖いと判断したんじゃないですか。

それに、カマキリの巣が低い所にあるし……。小雪だと思いますね。」

高橋モミさん（松代）

「今年は小雪みてだのぉ。

雪が、また降りまた降りして積もれねでいる。こういう年は雪は少ないで。（今年は）どうだったか知らんが、ほおの木の葉っぱが裏返しに落ちていると大雪だし、表向きにいっぱい落ちていればそんなに雪は降らないって言うのぉ」

〝城山から吹く風は、松代繁盛と吹いてくる〟んだそうです。

万羽卓司さん（松代）

「大雪の「九年周期説」で、昭和二年の大雪の年を起点に当てはめてみると、十一年、二十年が大雪、二十九年小雪、三十八年富山県で大雪、四十七年小雪、五十六年大雪。六十五年が大雪と見られるが、過去においても一、二年のずれで大雪の年があるので多少のずれを考慮するとこの冬は大雪となるのかも。

気象庁の大雪予想の根拠もうなずけるし……。

異常気象と言われた今年、寒暖計を見ていて感じたのは、最低気温が高めで最高気温が意外と低かったので、そのような影響がどのように出るのかも興味があるところ。

座談会

「広げよう ふれあいの輪」

県の青年海外派遣事業に松代町から二名の青年が参加しました。

品田靖さん（松代）は、青年リーダー養成海外研修として、十月十四日から二十五日までの十二日間、カナダとアメリカ合衆国へ。また関谷栄治さん（菅刈）は、青年友好大韓民国派遣で十月二十六日から十一月二日までの八日間韓国へ。

一方、青年活動のリーダーを養成する「学ぶ青年全国集会」が国立淡路青年の家（兵庫県南淡町）で九月十五日から十七日まで開かれ、菅井幹雄さん（苧島）が参加しました。

今回はこの三名の青年にその時の様子などをインタビューしてみました。

（要旨抜粋）

司会　まず、この事業に参加することになったいきさつから話してみて下さい。

菅井幹雄さん

話を聞いて是非、行ってみたいなあと思いました。本当は海外に行ってみたかったけど、仕事の関係でなかなか休みが取れなくって。

菅井　幹雄さん

品田　靖さん

去年、〝青年の丘〟の仲間から話を聞いて知ってはいたんだけど……。今年になって、〝どうですか？〟と公民館の樋口君に誘われその気になりました。

関谷栄治さん

最初、話があったときは慎しんで断ったんだけど、日にちがたつにつれ「申し込んでおきましたから……」と言われ、申し込んであれば仕方ないなあってことで。

関谷

司会　じゃあ、自分から進んでってことじゃなくて？

関谷　その時ははっきり言って行きたいとも思ってなかったし……。

司会　いつごろからその気になったの？

関谷　出発する一ヶ月くらい前かな、八日間仕事を休まなくてはいけないのでその段取りやなにかを考えているうちに焦りを感じちゃって。

司会　海外へ行くことの不安は？

関谷　初めて海外に出るのでチョッピリ不安でした。言葉の方は、日常会話集の本で普段の会話くらい覚えるつもりだったんだけど、結局覚えたのは、〝アンニョ・ハセヨ(こんにちは)〟だけで。(笑)

司会　品田さんは、不安はなかったの？

品田　すごく不安だった。少し英会話を習ったことがあるので、相手の言うことは半分くらいわかるんだけど、こちらの気持ちをなかなか伝えられなくって。

品田　靖さん

カナダのＹＭＣＡの連中と三時間くらい一緒にいたことがあったんだけど、夜になると一気にくたびれが出ちゃいました。(笑)

ここで、この三名の青年達の研修スケジュールを簡単に紹介しましょう。

品田　靖さん　総勢三十五名　10月14日成田空港発、バンクーバー着、15日～17日バンクーバ滞在、市長表敬訪問、社会福祉、教育施設等訪問、ＹＭＣＡと交歓会、市内見学　18日、カルガリ経由バンフ着　19日、ロッキーのモレーンレイク、エメラルドレイクを観光、20日ロサンゼルス滞在、21日～23日、二泊三日ホームスティ　24日、ロサンゼルス発、25日　成田空港着。

ロッキー(カナダ)のふもと、エメラルド湖にて

関谷栄治さん　総勢二十三名　10月26日、新潟発、釜山着(ソウル経由)、27日、社会福祉施設と青少年施設訪問、青少年団体と交歓会、28日、観光列車セマウル号でソウルへ、ホームスティ、29日～11月1日、ソウル滞在、「韓国青少年団体協議会」表敬訪問、社会教育施設訪問、市内見学等2日、ソウル発新潟着。

▶釜山市の学生が大歓迎「釜山港へ帰れ」をハングル語で合唱してくれる。

菅井幹雄さん　総勢二〇七名　9月14日、国立淡路青年の家着(泊)15日、全体会でのシンポと分科会での討議と情報交換　16日、分科会と全体会、地域別交流会と交歓会、17日、記念講演、池田高校野球部監督、鳥文也講師、京都泊、18日、新潟着

▶地域別の交流会です。

左関谷さんと中野さん右）

▼リチャードさん一家（若い女性は息子さんのフィアンセ）。
（右端品田さん、左２人目土田さん）

司会　むこうではどんなだったんですか。

菅井　国立淡路青年の家というところで、前の日と合わせ三泊しました。毎日が研修で、話を聞いたりデスカッションしたりで……。そして、16日の午後からは野外パーティー、夜は「お国自慢」ということで〝佐渡おけさ〟を新潟代表で披露して来ました。

司会　よその県の人は新潟県の人たちをどのように見ているもんですか。

菅井　特別には……。やはり同じ日本人だから（笑）でも、よその人が評価するには何か性格がバラバラな割にまとまりがあるんだそうです。お国自慢をするときも〝佐渡おけさを練習してきました。皆さんも一緒に踊りませんか〟から始まったり、飲み会でも新潟の人が段取りしたりで……。

司会　品田さんと関谷さんは〝日本人〟として海外に出てみて感じたことは？

品田　カナダはイギリスの植民地だったためか、福祉にすごく金をかけているんです。例えば、日本では障害を持った人を施設に入れることしか考えないが、向こうでは、そういった人たちが実際に日常生活でき、不便がないように援助しているし、またホームステイ先（ロサンゼルス）では、〝自分はどうすればいいのか〟でなく〝自分はどうしたい〟を相手にはっきり言うことが大切なんだってこと、その辺が日本人と違うなぁって感じました。

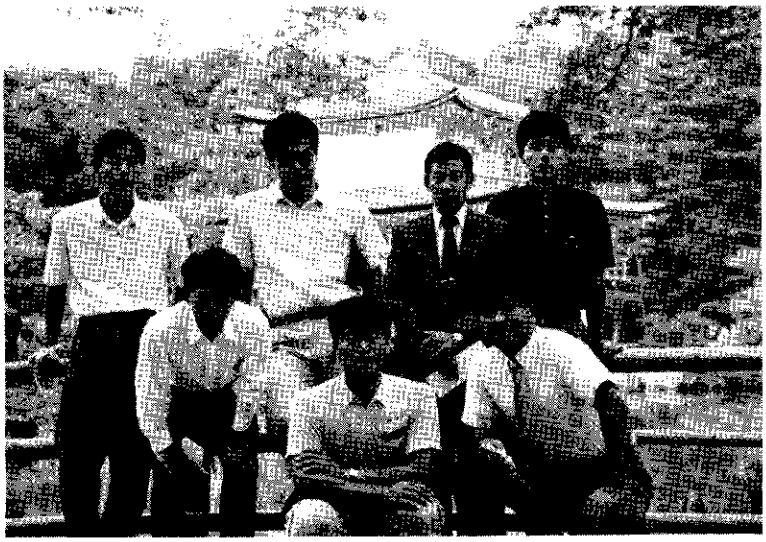
関谷　日本に一番近い国なので日本と似たり寄ったりだろうと思ってたんだけど、まるで生活習慣や考え方が違っているし、今でも日本人が〝いつか我々を侵略しに来るんじゃないか〟とか〝帝国主義が復活するんじゃないか〟とか、とにかく私たちには考えられないような誤解をまだ持っているみたいなんです。

司会　研修をふりかえってみての感想は？

菅井　勉強してきました（笑）シンポの中での先生の話に〝これから老人社会に入るのだが、もし自分がそうなった時には好かれる老人にならなくてはいけない、好かれる老人になるには交流しなくちゃいけない〟ってことと、青年団活動では、〝いいかげんの勧め〟ということで神奈川の人が発表したんだけど協力してもらえる時に協力してもらう仲間づくりもこれからは大切になるんではないかってこと。人数が多い所ではそれもできるだろうけど、やっぱりそうばっかも言ってられないし…。

▲ソウル市内俞さん夫妻（中央二人）宅で

▼県内の参加者と金閣寺で（菅井さん前列中央）



むずかしいですね。

品田　帰って来て二週間くらいボーッとしていて（笑）チャンスがある時はそれに乗らないと……。事前研修の段階でもうきつくて、やめようかと思ったけどやめずに行って来て良かったなと思う。何かはっきりしないんだけど……。価値感ばっかりじゃなく、何か別のものもあるみたいだなあって……。

関谷　二十人が四つに分かれ、その一つの班長ということで事前研修の段階からまとめ役だったんだけど、僕たちの班はとにかく気楽に行こうということで行ってきた。実際は海外研修よりも事前研修の方が大変だったけど職場の人から理解しカバーしてもらって助かりましたし、向こうへ行って、先に話したとおり韓国の人は日本人に対し過去の戦争のいきさつだとか色々なわだかまりを持っているにもかかわらず、我々に対し非常に親切で一番ともいえる接待をしてくれたのがうれしかったです。

司会　最後に来年も参加したいですか。

菅井　来年は国立赤城青年の家に是非参加したいと思っています。

品田　出たいんだけど年齢制限もあるし……。事情が許せばもう一度参加したいですね。チャンスがあれば他の人もどんどん出るべきだと思います。

関谷　もし行けたらもう一度参加してみたいです。今回は、韓国に行って来たこと以上に、同行した二十二人の仲間と親しい間柄になれたことの方がうれしかったですね。今後は、すぐには成果は出ないと思うけど、地域の青年リーダー、町の職員として、今回参加した経験を生かしたいと思います。

座談会を終えて

総合センターの一室で初の座談会をやってみました。

一時間半近くに渡り話を聞かせてもらいましたが、聞き下手の話し下手、おまけに下調べ不足で始めてしまい、折角出席いただいた三人の方には話したかっただろうことの半分も聞き出せず、今になって失礼してしまったと悔んでいます。

「広げよう　ふれあいの輪」これは、後からつけたタイトルのため少し浮いた感じになってしまいました。でも三人の異国の地での話を聞いていると、出会いの喜こびの素晴しさがひしひしと伝わってきます。それと、聞いていて感じたことは〝自信を付けたな〟ってこと。今回の研修で確実に何か〝もの〟にしてきたようです。永く温かい目で見守ってやりたいものです。

出席いただいた三人の方とカメラのH君、ありがとうございました。

松代町史編纂シリーズ㊱

「紺屋仲間取極證文」みつかる

松代町史編纂室　関谷哲郎

松代町に紺屋（染物屋）二十五軒があった。

松代の関谷ヒデさん（屋号松屋）が提供してくれた古文書の中に、**「紺屋仲間対談議定取極證文之事」**という書ものが一通ありました。

むかし、**松代は有名な縮布生産地**でしたから、電話帳をみても「こんや」の屋号が見られます。どの位の数があったか町史に書きたいけれどわかりませんでした。

最近になって、これがみつかり大喜びしました。早速、印刷会社へ出した原稿とくらべてみた次第です。

文書は文久三年八月のもので、その中味は、染賃を紺屋仲間できめた上は、それを破らず、互いの商売を守ること、もし破った場合は、**仲間組合の諸雑用費の外、組合員一人づつに銭百文宛**詫料をはらうこと、きまりを破った者を知っていて隠していた者も同様の罪にすると書かれた厳しいとりきめです。

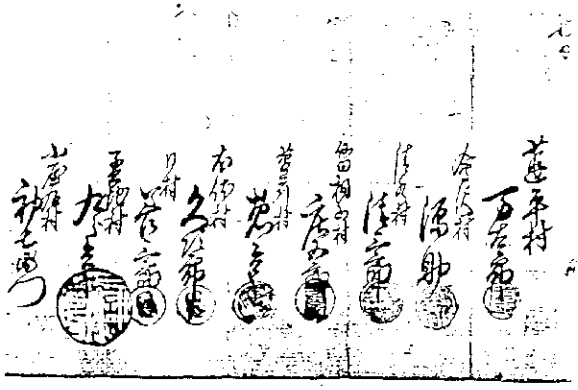
そして翌年の染賃を定めた記載をみると、当地では**本紺（藍染）、や志や紺、浅黄、花色、鹿色と五種類**を染めたことがわかります。

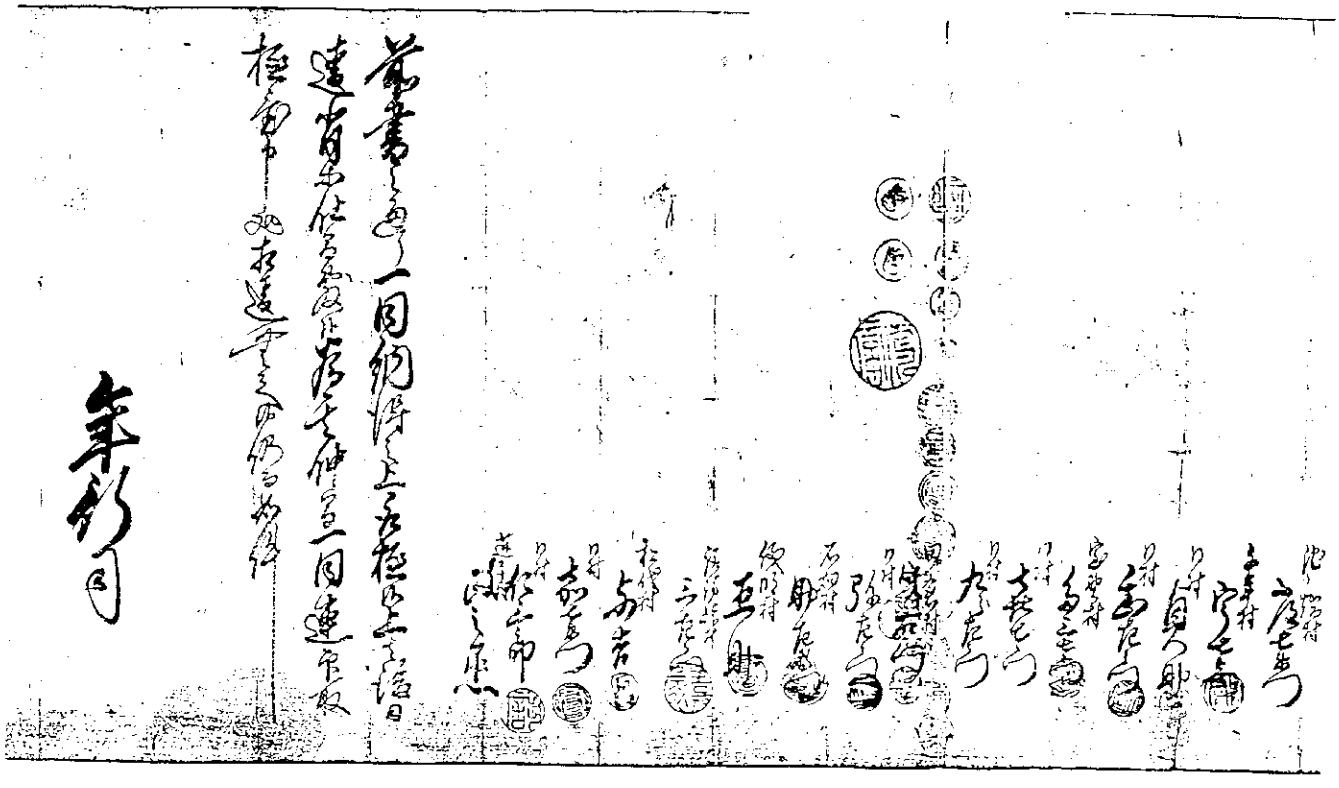
なお、染賃については、本紺以外は、盆まで銭一文値下げ、盆すぎは更に一文下げて染めるという、客へのサービスも忘れない取りきめをして、組合仲間の名前を連署しています。

次の二十五名がそれです。**あなたがたの村の今何という屋号の家**が紺屋だったのでしょうか。調べてみるのもおもしろいと思います。

蓬平（万太郎、政之亟）、会沢**（源助）**、清水**（清三郎）**、仙田桐山**（庄五郎）**、菅刈**（惣兵衛）**犬伏**（久次郎、善三郎）**、孟地**（九郎平衛）**、小屋丸**（初右衛門）**、池之端**（常右衛門）**、千年**（常右衛門、貞助、甚左衛門）**室野**（多三右衛門、喜右衛門、九郎左衛門）**、田野倉**（幾右衛門、弥左衛門）**、石畑**（助左衛門）**、儀明**（五助）**、諏訪峠**（三左衛門）**、松代**（与吉、嘉右衛門、仁三郎）となっています。

紺屋は余力がないとできませんでした。松代の与吉は、名寄地価書上帳の上ノ山下与吉と一致するので、現大正医院さんの先祖と思います。





固定資産税のはなし ③

家屋に対する課税

(1)評価のしくみ

固定資産評価基準に基づき、再建築価格を基準に評価します。

●新築家屋の評価

評価額 ＝ 再建築価格 × 経年減点補正率

再建築価格……評価の対象となった家屋と全く同一のものを評価の時点においてその場所に新築するものとした場合に必要とされる建築費です。

経年減点補正率……家屋の建築後の経過によって生ずる損耗の状況による減価等をあらわしたものです。

事　例

次のような一戸建住宅について、昭和64年度分の固定資産税額はいくらになりますか。（税率は$\frac{1.4}{100}$として計算します。）

・構　造……木造平家建（専用住宅）
・建築時期…昭和63年８月
・床面積……150m²
・昭和64年度価格　9,000,000円
　（１m²当たり価格60,000円）

解説

①減額措置が受けられます。
（専用住宅、床面積要件
40m²≦事例の家屋150m²≦200m²、
価格要件：事例の家屋60,000円／m²
≦85,000円／m²）

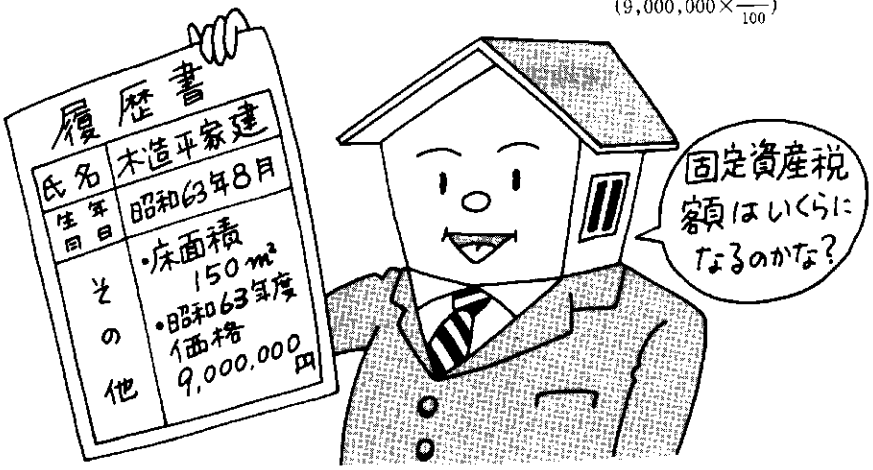
②減額される額

$$9{,}000{,}000円\times\underbrace{\frac{100m^2}{150m^2}}_{(減額部分)}\times\underbrace{\frac{1.4}{100}}_{(税率)}\times\underbrace{\frac{1}{2}}_{(減額割合)}$$

＝42,000円

③昭和64年度分の固定資産税額

126,000円－42,000円＝84,000円
（9,000,000×$\frac{1.4}{100}$）



※詳しいことは役場税務課へお問い合わせ下さい（☎７―2220）

辰年をふりかえる

辰年も残りあとわずか。一年が過ぎるのが本当に早く感じられます。

今年も色々なことが数多くありました。

大きな出来事として、「冬の陣」、国際結婚、チベットハウス開所、温泉堀削等々話題に事欠かない一年でした。

ここで紹介できるのはほんの一部。残りは皆さんの脳の中であたためてください。

一月

2日　犬伏の松苧太鼓、蒲生松泉寺から甲信越地方に向けてＮＨＫが生放映

4日　再赴任バス、役場前を出発（東京2、名古屋1）

23日　お年玉付き年賀ハガキ一・二等当選者へ賞品を授与（松代郵便局）

24日　在天法人松代相撲千秋楽（松代小体育館）

31日　第二回上石厳杯クロスカントリースキー選手権開催（五八四人参加）

4日　再赴任バス出発　積雪15cm

雨の中でのどんど焼き（千年）

二月

10日　保育園児の風船が取り持つ縁で栃木の稲川さん来町

14日　第三十三回町民スキー大会（少林寺山スキー場・町民グラウンド）

16日　所得税確定申告、納税相談始まる（役場）

緊張の中でスタート（第33回町民スキー大会14日）

三月

1日　松代高校卒業式

12～13日　第一回「越後まつだい冬の陣」開催、（松代城、町民総合グランド。三五〇〇人の人出）

14日　松代中学校卒業式

24～25日　町内小学校卒業式

四月

9日　婦人の〝バイクの正しい乗り方〟指導会、（役場裏、七十人参加）

10日　町連合婦人会総会開催（総合センター）

20日　秋山町長一日郵便局長に（松代郵便局）

交通安全はまずバイクの乗り方から

五月

3日　町成人式（総合センター　新成人一〇八人出席）

8日　七ツ詣り（松苧神社）

11日　リハビリ教室開講（渋海荘　十八名参加）

19日　渋海教室開講（渋海荘　十六人参加）

20日　第一回町民講座（須佐入広瀬村長講師、聴衆一八〇人）

26日　県の交通安全対策重点地区に指定される。

31　芝峠温泉堀削起工式

今年の圧巻「冬の陣」

伝統の七ツ詣り

六月

17日　薬師トンネル内で自動車衝突、炎上。（軽傷一名）
25日　第一回ナイトウォーク（一四三名が大厳寺高原までの二十㌔徒歩に挑戦）
30日　東山部落で協業組合設立十周年を祝う。

最後のチェックポイントで一休み　25日ナイトウォーク

七月

2日　ペマ・ギャルポ氏一行八名来町
3日　チベットハウス開所式（旧下山分校）
11日　第二回町民講座（「おらにもしゃべらせて」で一一〇人集る）
11～16日　総合健康診査（総合体育館）
16日　子供会交通安全「夏の陣」、折鶴五千羽に安全祈願し狼煙リレーを行う
23日　フィリピンから花嫁十人が観音祭花火大会で賑う中到着
24日　松代観音祭
25日　日比国際結婚合同披露宴（松代中学校体育館）
31日　消防地区演習（奴奈川・山平地区）

八月

6日　高齢者スポーツ大会（総合体育館）
7日　第九回町民体育祭（町民グランド）
25日　戦没者慰霊祭（洞泉寺・遺族会主催）
29日　文化講演会（総合センター　講師　浦野正樹氏）
30日　東部和牛改良共進会（旧家畜市場跡）

九月

1日　町民健康診査事後指導始まる。
7日　第三回町民講座（「町長北越北線を語る」聴衆三一〇人）
19日　上越地区交通死亡事故抑止緊急対策本部設置（十一月二十日まで）

「北陸北線を語る」会場いっぱいの町民講座

十月

2日　町民健康マラソン大会（五三二名参加）
10日　体育協会設立十周年記念式典（総合体育館　講師　松本匡史氏）
12日　第四回町民講座（講師　清水勉氏）
22日　チベット文化研究所長ペマ氏との懇談会（役場）
30日　池之畑部落水道竣工式

池之畑で待望の水道竣工式

花嫁10人を迎え合同披露宴

十一月

3日　町文化祭、町農業賞授与式
8日　松代高柳線、越省橋竣工式
9～10日　松代中学校創立十周年記念行事
21日　第五回町民講座（「雪国イベントまちおこし」講師　馬場和市郎氏）
22日　北越北線第二田沢トンネル貫通）
26日　町子供会連絡協議会設立十周年記念式典（総合センター　講師　吉津勝栄氏）

松代中創立10周年記念

松代町の野鳥 シリーズ㉒

カワセミ

松永洸

環境汚染のバロメーターとして知られ、姿を知らなくとも名前を知らない人はいないと思います。漢字で書くと「翡翠」と書き、字のとおり色彩は目がさめるような群青色で、その美しさから、ヒスイともいわれているくらいで、上面は、頭部及び顎線は黒色をおびた緑色瑠璃色の美しい横しま、背、肩は黒色をおびた緑色で背面の中央と肩羽のところどころ、及び腰、上尾筒は瑠璃色で光線の具合で緑色に見え、翼は黒褐で外弁が藍青色で尾は晴藍青色で短い下面は頬、胸、腹、下尾筒、翼の裏は橙黄色、両頸側部に白斑があり、ネックレスをかけたような感じになっています。嘴は長くて大きく、雄では嘴全体が黒色、雌では、下嘴が赤色で上嘴は黒色であることから雌雄を区別します。大きさは、スズメより少し大きく、全長一七センチ位で、日本産カワセミ類では一番小さい鳥で、分類上は、ブッポウソウ目カワセミ科に分類されます。

生息場所は、全国の平地から標高九〇〇メートル位までの河川、湖沼、湿地、水田、小川などの水辺に住み、北海道では夏島、本州以南では留鳥です。近年、ゴミ、汚物、農薬などによる河川、湖沼等の汚染、餌となる魚の減少、営業地となる土手などのコンクリート代、湖沼などの埋立てなどによる減少が各地から聞かれていましたが、最近、生息域、個体数が増加傾向にあることが報告されていますが、まだまだ昔のようにどこでも観察できるというわけにはいかないようです。松代町では、渋海川の田沢地内や、鯖石川の上流付近の苅平地内で観察できます。変ったところでは、松代の町中の池の金魚を食べにくる事様を観察できるところもあります。カワセミは公害のない、きれいな水にしか生息できないので、カワセミが多いということは松代町の河川、沼、池の水はきれいで自然が豊かであると言えると思います。

ところで皆さんは、この歌をご承知でしょうか？、

にごり絵の
　水底くひそむとも
などかわせみの
　取らでおくべき

この歌は、赤穂浪士の討入りに関係した歌なのだそうです。と言いますのは、主君浅野長矩の遺恨をはらすため、赤穂浪士の幹部は色々と作を練ったのですが、家老の大石良雄は、浅野の家来は吉良を討つ気はなくなったと見せつけるため遊びにふけっていたのです。ところがこれが事実かどうか吉良方の間者が確めるため、酒に酔って遊びたわむれている大石良雄にカワセミの絵の掛け軸に歌をのせてくれと頼んだところ、大石良雄は、

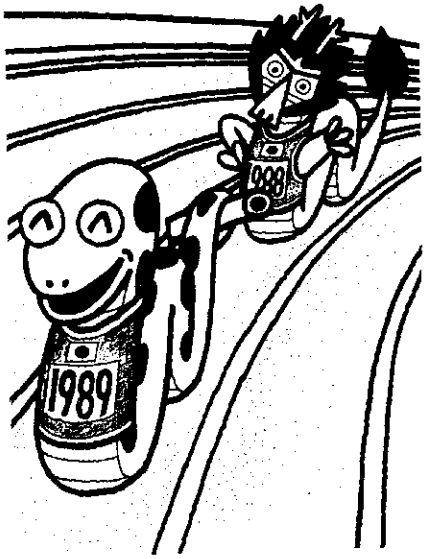
郡内の交通事故 発生状況

（11.20日現在）

松代町での事故の形態	傷者	死亡	件数	町村
自損事故	11	1	9	安塚町
車対車	23	1	20	浦川原村
車対バイク	14		12	松代町
車対自転車	10	1	7	松之山町
バイク対人	4	1	5	大島村
車対人	4		4	牧村
5 1 2 1 3				
12	66	4	57	計

年末年始の
交通事故防止運動

安全を
みんなでつなごう
新たな年へ



12月11日～1月10日

「にごり絵の、……」と、自分分自身をカワセミに置きかえて、「いまは、世間からひっそりと身をかくしているが、必ず主君の仇を討ってみせます。」という意味に書いたところ、吉良方に見破られてしまい仇討ちの時期がかなりおくれてしまったといわれている歌なのだそうです。

松代町ではどのような方言で呼んでいるのでしょうか。下越方面では、セナドリ、ヘナドリ、センチドリ、ヘッコキドリ、ザッコドリなどと呼んでいるようです。全体的にも、いろんな方言があり、かわったところでは、クサイドリ、ジュウレンコ、ヒヒ、ヒス、ヒョウヒョウドリなど、数一〇種もの呼び方があるようです。この方言は、非常にくさい臭いがすることからつけられたということですし、セナとかヘナは、台所から流れる下水のことで、昔は下水もきれいで、魚、ドジョウなどがかなりいたようで、それを食にしていたことからつけられたようです。このようにカワセミは、小魚などを餌にし、他にカエル、水生昆虫などを食べ、これらの餌を取る時には、杭、水草、水面上の枝などに止まって餌をみつつけるとダイビングして捕食し近くの石、岩、木に止まって捕えた小魚などを打ちつけて殺して頭の方から丸飲みするのです。ところが魚などは消化できないことから、ペリットとして吐き出すのです。このペリットを調査すると何を食べているのかわかるのです。

巣は、三月上旬ころから八月上旬ころまで水辺の土手や土の崖に嘴を使って、直径六～九センチ、深さ五十～一メートルの横穴を掘り、中に純白の卵を四～七卵産み抱卵し一九～二一日で孵化し、雛は二三～二七日で巣立ちをします。雛は親とは別の新天地を求めナワバリを作り生活します。筆者は、長岡で勤務した時、百問堤という池でカワセミを観察しましたが、林の中の池で深閑とした水面上を、チィーッ、チィーッと飛ぶ姿は今でも印象に残っています。筆者に歌心があるならば、その印象を歌にすることができたかも知れませんが、このような情景を、川田順という人は

朝川の水をかすむる
翡翠は腹赤く映し
ひとすじに飛ぶ

と歌っています。

松代町でも、いつまでもこのような情景が観察される自然が残っていることを願ってこの項を終ります。

歳時記

お歳暮

今年が辰年なので、昨年暮れのお歳暮は、竜のおとし子が話題になりました。

今年も、来年の巳年にちなんで、マムシやハブを材料に使って〝スタミナ〟を売ろうという、奇をてらったギフトも出ているようで、歳末商戦もいよいよピークを迎えようとしています。

もともとお歳暮は、親や仕事上の親方など目上の人の健康を祝福するために、米やもち、魚などを携えて出向いたことから起こった風習のようです。今も、「親の膳」などといって、正月や盆に魚をそえた膳を親元に持参するところがあるそうです。そのあと目上の人からお返しをするのが普通とされています。

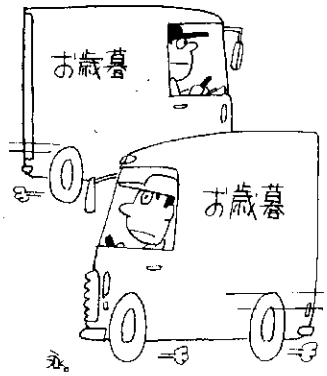
時期的には、十二月の二十日から一週間ぐらいの間が一般的です。

最近では、商品券などがかなり出回っているようですけれども、まだまだ現物が多いようです。

ところで、年末年始は、一年のうちでも最も荷動きの激しい時です。もちろん、人の往来も盛んです。このため、一度事故が発生すると、大事故につながる恐れが多分にあります。

そこで運輸省では、十二月十日から一月十日まで「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施します。

この時期、マイカーの整備をふだんよりも念入りに行うとともに、運転も車間距離を十分とるなど、慎重にしたいものですね。そして、シートベルトをくれぐれもお忘れなく。



松代町子ども会連絡協議会 発足10周年を祝う

十一月二十六日、町の総合センターで関係者七十人が集まり、松代町子ども会連絡協議会（鈴木益夫会長）が発足十周年を祝いました。（写真）

昭和五十四年十一月に現在の会の名称と決め、十五地区子ども会員三〇六名、育成者九十五名、小堺武美初代会長のもとでスタートし、以来、健全な子ども達を育成しようと関係者の努力のもとで、最盛期の五十八年には五六〇人の子ども会員の加入数となります。その後、過疎と子ども数の減少により会員数は年々減少傾向にありますが、「明るく健やかな子ども達に！」の熱意は深まるばかり。

当日の式典で、島田助役（町長代理）は「子供は町の財産。避地の中から国の将来を背負う子供を育てよう。」とあいさつ。

対外試合で成果発揮 剣道連盟

○第二回親善少年剣道大会

今年二回目を向えた親善少年剣道大会は、十月三十日に松代中学校体育館で開催されました。この大会は、昨年から十日町魚沼管内と東頸管内の少年剣士達の交流の場として開催されました。今大会も小中学生合せて百十数名の少年剣士達が出場して、個人戦が行われました。当日は試合がスムーズに行われたため、七段他各先生方との熱気あふれる合同練習も、三十分程延長して行われ、大会が終了しました。

成績は次のとおりです。

小学校低学年の部

二位　菅井史郎（松代十王堂）
三位　大野友斉（千年二枚田）

◎参加者内訳（113名）

十日町剣友会（32名）
川治剣友会（12名）
川西剣友会（6名）
津南剣友会（27名）
浦川原村剣道連盟（14名）
松代剣道連盟（22名）

▲郡市剣道大会で見事優勝

○第三十三回郡市剣道大会

中魚沼郡剣道連盟主催の郡市剣道大会が、十一月十三日津南町総合センター体育館で開催され、当連盟も小学生から一般まで、二十七名が出場いたしました。

個人戦では良い成績が収められなかったものの団体戦では、一般、高校の部において無敵といわれていた十日町剣友会を準決勝で代表決定戦の末敗り決勝では敗けなしの全勝で非願の優勝杯を手にいた

二十一世紀の主役は子どもたち

青少年育成県民会議副会長
吉津勝栄 氏

また、記念講演講師の青少年育成県民会議副会長、吉津勝栄氏は〝この子らの将来に祈る〟と題し、「子供の周りにはマイナスの要素がいっぱい。今の子供達は家庭の中で育てられていない。この子らを見放したらいったいどうなるのか……」と物質面のみ豊かさが先行している現代社会が、二十一世紀を担う子供たちにとって、憂慮すべき時代であることを熱っぽく話されました。

なお、功労者表彰として、小堺武美初代会長、山岸益夫二代会長はじめ、十三名の地域子ども会育成会長が鈴木益夫会長から伝達されました。

献血功労者に銀色有功章

血液の不足で献血への協力を呼びかけている日赤新潟県支部では、このたび三十回以上の献血者に銀色有功章と記念品を送りました。

松代町では、大野賢郎さん（吉沢光学）三十四回、関谷正義さん（松代・マエダ美容院）三十回、小野島修一さん（会沢、さかいや）三十回、樋口恵子さん（松代農協）三十回の四名が該当し、役場の町長室で秋山町長が一人ひとりに労をねぎらいながら伝達しました。

〝献血は心の贈りもの〟

見知らぬ人へ、あなたもさやかな〝愛〟を贈ってみませんか。

しました。

当日は出場選手も多い事もあって松代の熱気が終始他チームを圧倒していました。

成績は次のとおりです。

◎一般・高校の部

○団体戦 優勝

先鋒 柳 久（役場）
次鋒 柳 志朗（高校生）
中堅 鈴木正和（高校生）
副将 皆川武志（松之山分校教諭）

○第八回修錬館剣道大会

前回までは、浦川原村少年剣道大会という大会名であったこの大会も、道場の名前をとって修錬館剣道大会と名称を変えて、十一月二十日に浦川原村民体育館で開催されました。

当連盟の剣道教室の練習もこの大会まで今年で四十数回を数え各種大会にも参加して、技と試合運び等においてもかなり練習は積んであるものの、伝統ある浦川原には、あと一歩の所で及ばず団体戦では入賞できませんでしたが、個人戦では奮起して二学年で優勝を成し遂げました。

大将 松永 洸（派出所）

◎小学校高学年の部

○団体戦 三位

先鋒 宮沢 晃（宮沢）
次鋒 石口久司（文八）
中堅 富沢 圭（向田）
副将 関谷 努（糀屋）
大将 柳 宏樹（元えん）

○個人戦 三位

石口久司（文八）

この大会が、今年最後の大会となりましたが、一年の数多い練習と、各種大会の中で昨年より又一段と立派な剣士へと育ったものと思います。

成績は次のとおりです。

◎ 個人戦

○小学校二年生の部

優勝 菅井史郎（十王堂）

○小学校四年生の部

優勝 阿部新吾（東北電力）

○小学校六年生の部

三位 柳 宏樹（元えん）

◎団体戦 三位

先鋒 鈴木英理子（福海屋）
中堅 高野香奈子（じろばた）

くらしにやくだつおしらせひろば

転作助成補助金が 十二月二十二日 口座振込みされます

転作においては、種々ご協力いただきありがとうございます。

助成補助金については、すでに八月に概算分として基本額の半分が振込まれており、今回精算分として残る額が12月22日（木曜）に農協口座に振込まれます。

又、青刈稲及び各種加算については、今回一括振込みになっておりますのでご確認下さい。

尚、今年度転作の概要については追って、来年度配分面積が決定後、合わせて詳細をお知らせする予定です。

◎ 10アール当りの助成金の目やす

区　分	基本額	加算額
	千円	千円
一般作物（大豆、飼料作物、青刈稲等）	17	20～10
永年性作物等（果樹、林地等）	22	20～10
特例作物（一般野菜、たばこ等）	6	5
保全管理	6	—
土地改良通年施行	8	—

ふるさとでたのしいお正月

一月四日・東京・名古屋方面へのお帰りは再赴任バスで

料金と申込みは

○料金
東京行き　五、三〇〇円
名古屋行き　六、五〇〇円

○申し込み
一月二日(月)、午前九時から午後三時まで（厳守）役場職業係へ（☎七―二二一〇）

集合と出発は

○集合場所
一月四日、午前八時三十分役場前広場

○出発時刻
一月四日、午前九時出発

途中乗車は

○名古屋行きの方は全員役場前へ集合（途中乗車はできません）

○東京行きは、高校前、田沢、犬伏で乗車が可能です。

年末年始の診療体制

★県立松代病院　☎7－2100
休日　12月29日(木) ～ 1月3日(火)
◎　緊急診療可能

★大正医院　☎7－2011
休日　12月31日(土) ～ 1月3日(火)
◎　緊急診療可能

★室岡医院　☎7－2151
休日　12月31日(土) ～ 1月3日(火)
◎　緊急診療可能

★小野島歯科医院　☎7－3100
休日　12月31日(土) ～ 1月4日(水)
（緊急時　☎7―3200）

★室岡歯科医院　☎7－2007
休日　12月29日(木) ～ 1月3日(火)

レクリエーションダンス会員募集中

☆日時
毎月第一と第三月曜日
（一月は23日のみ）
午後七時二十分～九時半まで

☆場所
総合センター　大ホール

☆会費　一人千円（年間）

◎詳細は総合体育館（☎七―三七五二）か柳キノ（☎七―二二四四）へ

♬体を動かしいい汗流そう♬

支払調書の提出は一月三十一日まで

給料、報酬、料金、利子、配当などの支払者は、支払先の住所、氏名、支払金額などを記載した書類（支払調書といいます）を税務署に提出することになっています。

この支払調書は、その年中の支払分を取りまとめて作成し提出するもので、提出期限は利子、配当などの一部を除き、支払った年の翌年の一月三十一日となっています。

支払調書の種類は数多くありますが、主な支払調書について説明しましょう。

〈給与所得の源泉徴収票と給与支払報告書〉

昭和六十三年中に俸給、給料、賃金などの給与等を支払った場合には、支払者は「給与所得の源泉徴収票」を作成し、昭和六十四年一月三十一日までにすべての受給者に交付するとともに、一定金額以上の受給者のものを税務署に提出することになっています。

また「給与支払報告書」は、すべてのものを受給者の昭和六十四年一月一日現在の住所地の市町村に提出することになっています。

〈報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書〉

昭和六十三年中に、外交員、集金人、バー、キャバレーのホステス等に支払われた報酬、料金、および広告宣伝のための賞金などで、同一人に対する支払金額の合計が五〇万円を超える場合などには、「報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書」を、税務署に提出することになっています。

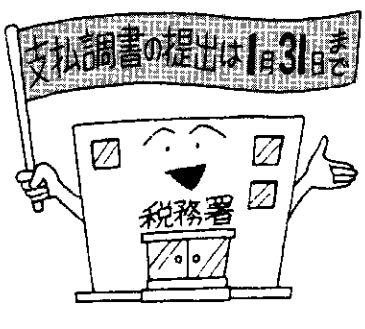
〈不動産の使用料等の支払調書〉

昭和六十三年中に不動産の使用料等を支払った法人や個人の不動産業者の方は、同一人に対する支払金額の合計が一五万円を超えるものについて「不動産の使用料等の支払調書」を作成し、税務署に提出することになっています。

〈不動産の譲受けの対価の支払調書〉

昭和六十三年中に不動産の譲受けの対価を支払った法人や個人の不動産業者の方は、同一人に対する支払金額の合計が一〇〇万円を超えるものについて「不動産等の譲受けの対価の支払調書」を作成し、税務署に提出することになっています。

詳しくは最寄りの税務署や税務相談室へお尋ねください。



★「国の進学ローン」のご利用を★

国民金融公庫高田支店では、現在「国の進学ローン」を次のとおり取扱いを行っております。

◇ 利用いただける方
来春、高校・短大・大学をはじめ各種専修学校への進学される方のご父母

◇ 融資額
１進学者あたり１００万円以内

◇ 返済期間
５年以内

◇ 利　率
年５．７％

◇ 保　証
財団法人進学資金融資保証基金または保証人（１名以上）

◇ 返済方法
毎月元利均等返済

◇ 取扱い期間
64年４月末日まで

詳しくは国民金融公庫高田支店
☎０２５５－２４－２３４０
へお問い合わせください。

「大腸ガン検診」（9月実施）

結果は異常のある方だけ通知しています。

ご了承下さい。

役場　社会課　衛生係

関谷力医師 県知事功労者表彰受賞

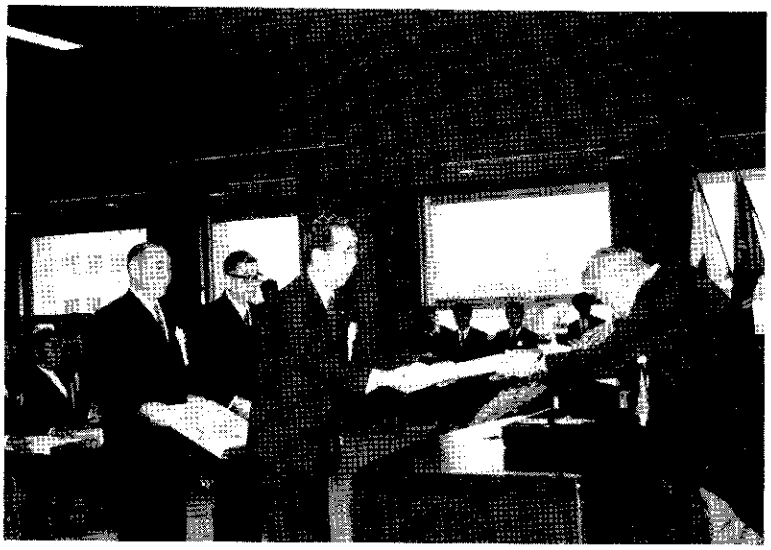
去る十一月三日文化の日に、県内各界の功労者に対する県知事表彰が行なわれ、当町大正医院の関谷力医師が保健衛生功労者として栄えある県知事表彰を受けました。

先生は、昭和二十七年に開業されて以来三十六年間当町にあって地域医療に尽力され、この間道路事情の極めて悪い頃から、夏は単身バイクで、冬は専ら徒歩で雪と戦いながらご活躍いただきました。

昭和四十年になってようやく町の雪上車を利用できるようになり、町の「老人等健康相談指導事業」に快よく賛同され、冬期間の孤立集落への往診にも積極的に応じていただきました。その際には吹雪の中、雪崩れのため、雪上車が立往生することも度々でした。

昭和二十八年以来学校医として、同五十九年からは、県警の警察医として、更に五十三年からは松代町教育委員に、六十三年八月からは同委員長として、あるいは結核診査協議会委員等各方面に巾広いご活躍の実績が認められての功労表彰となったものです。

今回の受賞を心からお祝い巾し上げるとともに、今後のご活躍をご期待申し上げたい存じます。



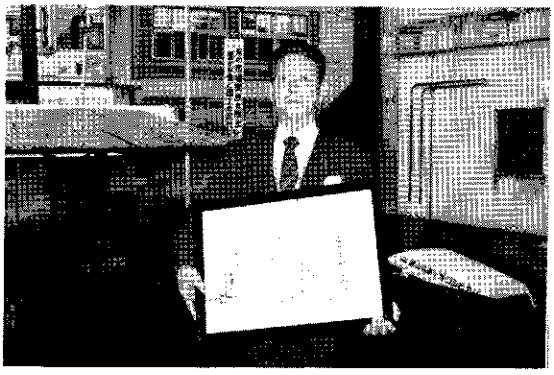
▲金子副知事が直接関谷医師に伝達

松代町農業賞に 佐藤幸栄さん（滝沢）と福島水稲生産組合

松代町農業賞は、農業の近代化を目指し明日の農業の担い手となり、かつ、その活動と実績が他の範となる優秀な農業者に与えられる賞で、本年度は佐藤幸栄さんと福島水稲生産組合（南雲堅組合長）に贈られました。

受賞された佐藤さんは家族四人で稲作と畑作の複合経営で農業されていますが、低迷する農業のなかで、特に山菜の人工栽培に力を注ぎ、実例、文献のない時から試行錯誤を重ねながら人工栽培の技術体系を研究され、この波及効果が町の農業に与える存在が大きいことにより表彰されました。

また、福島水稲生産組合は昭和五十九年に設立された組合で構成員十三人、水田面積八ha程度の組合でありますが、土地基盤整備の必要性を訴え、これを機会に補助事業で実行し、一方作業体系の確立を目指し共同作業施設及び機械の導入も国の事業で実施。農業の一貫した共同作業体系を確立して地域農業集団としての堅実な運営をしている実績が認められ表賞されたものです。



受賞をよろこぶ佐藤さん（上、代理）と福島水稲生産組合（下）

ヤング広場

「農家予備軍」に

関谷芳一

先日、役場の係から電話があり、どうしても、という事で引き受けてしまいましたが、どうも考えがまとまらず思いつくままに書いてみました。

松代を考える場合、切っても切り離せないものに農業があると思います。過疎化に悩むこの町が、なんとかここまでこれたのも農業立町だったからかもしれません。だからこれから町の中心となってゆく人達、特に若い世代の人達の農業離れが非常に心配です。

今、町の農業者の大半は、たぶん六十才前後でしょう。あと十年、二十一世紀を月の前にする頃を思うと恐しい事です。そこで若い世代の人達に、ぜひ「農」に興味を持ってほしいと思うのです。

農業は、とかく暗い、ダサイなどのイメージで受け止められがちですが、決してそればかりではないと思います。そこに生きがいを見つけ、一生懸命取り組んでいる人もいるのですから。

以前、TV番組に出ていた数戸の農家は、口を揃えて「土は、あたたかく、作物は正直だ。こんなおもしろいものはない」と言っていました。松代の農家もそう思っているでしょうし、また、そうであってほしいと思います。

農家後継者の若い人たちは、将来の農家予備軍です。決して「農」を切り離さず、農家でいてほしいと思います。

どうも「農」にとっつきにくい、勉強してみたいが仲間がいない、どうしたらいいかという人には、農家後継者の特に若い人たちだけのサークル活動もあるので、そんな所から気楽に始めてみては、いかがでしょうか。

とりとめのない事を書いてしまいましたが、いずれにせよ松代に住む以上「農」を切り離しては、考えられない様に思います。まず我家の「農」について少し考えてみてはいかがでしょうか。そして、改善策をみんなで話し合い、地域農業発展の源動力になれば最高だと思います。

（寺田・喜八）

戸籍の窓口

（10月21日～12月6日受付）

幸せ多い人生を（結婚）

椙澤竜彦・市川なつ子さん
（松代・ぐみざわ）

高澤昭夫・関谷厚子さん
（松代・高沢組）

関谷常夫・小堺ユリ子さん
（松代・伴次郎）

小島洋一・岡村昌子さん
（犬伏・しぶみや）

市川　修・裵　玉子さん
（松代・大上）

田邊政彦・高橋栄子さん

げんきなよい子に（出生）

小堺裕章（ひろあき）ちゃん　秀夫・正代さん
（長男・儀明・太田）

柳　夕紀（ゆき）ちゃん　茂・理恵子さん
（二女・犬伏・惣ぜん）

ご冥福を祈ります（死亡）

佐藤　ミヨさん　79歳
（室野・新宅）

高橋　岩吉さん　92歳
（儀明・はずれ）

山岸與四郎さん　91歳
（寺田・つんね）

市川　ツネさん　80歳
（田沢・保志場）

高橋　タツさん　84歳
（小荒戸・さくいん）

齋藤キクノさん　90歳
（田野倉・平左ェ門）

山岸　ふじさん　76歳
（木和田原・権現堂）

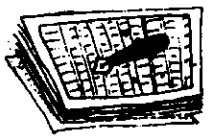
編集後記

どうにか今年の持ち分の十二月号を発行できたという喜こびもつかの間、来年の一月号の心配がもう頭の中で始まります。

一ヶ月が過ぎるのの早いこと早いこと。

ヤング広場に登場いただきました皆さん、ありがとうございました。できたての原稿をいただいたときの嬉しかったこと。一人ひとりの方との〝ふれあい〟が想い返されます。また、シリーズでお願いしている、町史の関谷さん、野鳥の松永さん、文芸の津幡さん、園芸の高橋さん、新年号からもどうぞよろしくお願いいたします。

文芸



短歌　比島花嫁

下山埋れ木

南国の遠き比島ゆ十人の花嫁迎えし松代の快挙

父と呼び母と呼びてもこたえなし海原遠しフィリピンの島

骨埋める青山世界に数あれど日本と決めし心愛しも

今日も過ぎ明日も又来る修業の日苦難に耐えて良き日迎えよ

逞しき夫の胸に顔埋めて愛求むるに如くなき現在ぞ

この娘らよやがて子を持ち母として世界をつなぐ礎となれ

短歌　川霧

富沢　和風

来る年のゆたけき実り念じつつ心弾ませ種籾を選る

しとど降る雨を厭いて鳴く鴉今朝も連れ立ち杉の梢に

風雪の荒れ狂う夜は思い出す三歳過ごせしシベリヤの炭坑

白銀の帯にも似たる川霧の上に朝日の松代城見ゆ

俳句

大根洗ふホースに沢の水飛ばし　耕山

地のものはすべて乾きて雪催　鐵堂

霜月や何処ぞからくる味噌煮の香　折人

所在なく鼻毛抜く背に秋日和　耕人

熱燗に文句言いつつ呑んでをり　月日

稲架の稲おろし見慣れし景もどる　爽風

恵比寿講の芋剝く夕べ母思ふ　ふさ女

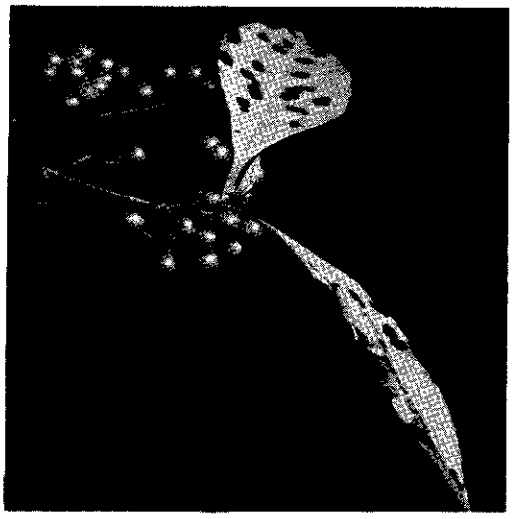
さむざむと雨にうたれて菊匂ふ　みつ女

豪農の館見てきて菜飯食ふ　龍峰

きわやか君

西村　宗

野になる実　ムラサキンキブ



源氏物語の紫式部と同名とは、植物名利につきるというもの。ただし源氏物語にも万葉集にも出て来ないのははなはだ気の毒であろう。

なお、シキブとは、重なり合ってつく実の状態をいう、

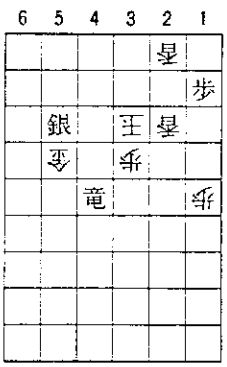
落葉性の低木で葉は長円形質は薄く両端は尖り、鋸葉が出る。長さ十糎ほどで柄を備え、時に細かい毛をつける。

花は対生した葉の脇にまとまってつき、淡紫色で長さ五糎、球形の果実は直径四糎ほどで紫色。今が見頃である。

詰将棋

出題　八段　北村昌男

●ヒント…逃げ道の多い玉をつかまえるには角をうまく使うこと。

10分で2級、6分で初段。

持駒　角桂